

札幌学院大学 国際交流センター

NEWS LETTER No. 37

2018年4月2日

発行：国際交流センター

本学でも新入生を迎えて、2018年度の始まりです。お正月の次に、新たな気持ちで様々なスタートを切る時期でもあります。

新入生とともに、この春も韓国、中国から多くの交換留学生を迎えます。日本語は理解できても、本学での勉強、江別での生活は初めての留学生を応援していきたいと思います。国際交流では、留学生を交えてのイベントを色々計画しており、そのつど告知していく予定ですので、関心のある方はぜひ参加して海外からの学生と交流してみてください。違った考え方、新たなものの見方を身につけるチャンスです。

別れの季節が終わったあとは出会いの季節。これからは気候もよくなり動きやすくなります。心も体も軽く進んでいきたいですね！



①日本語教育・文化体験プログラム(冬)、無事終了！

1月10日から2月10日にかけて「日本語教育・文化体験プログラム(冬)」が開催されました。韓国、台湾、マレーシア(オーストラリアで就学中)からの59名が、集中的に日本語を学びながら、本学のサポート学生と交流したり、北海道各地でのフィールドトリップを楽しみました。

日本語を全く初めて勉強する学生も多く、最初のうちは日本人学生とのコミュニケーションなどで苦労しているようでしたが、後半、少しずつわかっ

てくと笑顔で言葉をかわすことも増えました。「インスタ映え」などのよく聞く言葉も早くに覚えたようです。



ほとんどが雪の積もることのない地域から来た学生たちだったため、北海道に到着してすぐは白い雪にはしゃいでいました。フィールドトリップで行った美瑛の丘も、何もない雪原でしたが魅了された様子でした。次は、夏の北海道もぜひ見てほしいものです。

留学生たちは、本学のサポート学生と再会を誓いつつ帰国してきました。

②東亜大学 学生交流プログラム



毎年 9 月には本学の学生が東亜大学を訪ね、2 月には東亜の学生が本学を訪れる相互の交流プログラムが、2 月 5 日から 9 日にかけて行なわれました。残念ながらこのプログラムは 2017 年度で終了となってしまったのですが、本当にそれが惜まれるほど良い交流が今年もできました。 歓迎会として

一緒にお好み焼きなどを作ることから始まり、相互のプレゼン、雪まつりや定山溪での一泊など短期間でも密度の濃い内容でした。

2018 年度からは、夏に東亜大学で行なわれる 2 週間の Korean Summer Session に本学から 8 名が参加できるようになっています。春から募集開始しますので、8 名めいっぱいの方をお待ちしています！



③その他国際交流より報告事項

アメリカ、イギリス、オーストラリアの半期留学から帰国した学生の報告会が 3 月 14 日に行なわれました。それぞれが充実した留学生活を送ったようです。また、チェンマイ(タイ)交流プログラム、初のマレーシアプログラムに参加した学生たちも元気に帰国しています。



さて、これまで本学国際交流は、教務課内と LL 事務室内とに分かれていたのですが、この 4 月より L 館 2 階(グローバルラウンジ向かい、エレベーター横)に移動して一つにまとめました。より便利になって、さらに本学の国際交流を促進していきたいと思ます。皆様、お気軽にお立ち寄りください！

国際交流のホームページもご覧ください！

→ <http://www.sgu.ac.jp/iec/>

